

各 位

会 社 名 株式会社 東北新社
代 表 者 名 代表取締役社長 小坂 恵一
(コード: 2329 東証スタンダード、名証メイン)
問 合 せ 先 取締役 沖山 貴良
電 話 番 号 03-5414-0211 (代表)

当社株主総会の議案に関する議決権行使助言会社 I S S 社レポートに対する当社見解

当社は、2025年6月27日開催予定の第63回定時株主総会（以下、「本定時株主総会」といいます。）に付議する議案に関して、議決権行使助言会社の Institutional Shareholder Services Inc.（以下、「I S S 社」といいます。）が、賛否推奨レポート（以下、「本レポート」といいます。）を発行している事実を把握いたしました。本レポートにおいて、I S S 社は第2号議案及び第3号議案について反対の議決権行使を推奨しています（以下、「I S S 推奨」といいます。）が、I S S 推奨に関する当社の見解を下記のとおりお知らせいたします。

株主の皆様におかれましては、当社見解をご理解いただき、議決権行使の判断を適切にさせていただきますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

記

1. 第2号議案 「取締役（監査等委員である取締役を除く）14名選任の件」について

I S S 社は、その議決権行使助言基準において、支配株主が存在する会社の取締役会においては、I S S 社が定める独立性基準を満たす社外取締役の割合が3分の1以上となることを求めているところ、当社においては、本定時株主総会後の取締役会に占める I S S 社の独立性基準を満たす社外取締役の割合が3分の1未満となるとして、取締役会の構成に責任を有する、代表取締役社長である取締役候補者 小坂 恵一の選任議案に対して反対の議決権行使を推奨しています。

しかしながら、本定時株主総会後の当社の取締役会の構成は、取締役総数18名のうち6名が、東京証券取引所が定める独立役員の基準を充足する社外取締役となることになり、すなわち3分の1が独立性を有する社外取締役となります。I S S 社は、後述『2. 第3号議案 「監査等委員である取締役1名選任の件」について』に記載のとおり、監査等委員である取締役候補者の加計本誠氏に独立性が認められていないことを前提として、独立性を有する社外取締役の割合が3分の1未満となるという見解を示していますが、後述『2. 第3号議案 「監査等委員である取締役1名選任の件」について』に記載のとおり、加計本誠氏の独立性には何ら問題はありません。

当社は、当社の持続的な成長と中長期的な企業価値の向上に必要な取締役会全体としての知識・経験・能力のバランス、多様性を確保する観点から取締役候補者を選定しており、独立性を有する社外取締役の割合を含め、取締役会の構成は適切であると判断しております。

2. 第3号議案 「監査等委員である取締役1名選任の件」について

I S S 社は、監査等委員である取締役候補者の加計本誠氏は、当社の主要な取引先であり、また当社が株式を保有している株式会社博報堂DYホールディングスの出身者であることから、当社と関連を有し、独立しているとはみなされないとして、反対の議決権行使を推奨しています。

しかしながら、同氏は、株式会社博報堂DYホールディングスの子会社である株式会社博報堂を退社してから、既に約10年が経過しております。東京証券取引所が定める独立役員に関する独立性基準によれば、最近において主要取引先の業務執行者であった者は独立性を有しないものの、業務執行者でなくなってから1年以上経過している場合には、これに該当しないことが通常とされています。同氏は株式会社博報堂を退社してから既に約10年もの長期間が経過しておりますので、当社といたしましては、その独立性に何ら問題はなく、当社の監査等委員である社外取締役として適切に職務を遂行できると判断しております。

以 上